

九月

高額薬代來月から負担増

新型コロナ、公費支援終了

武見敬二厚生労働相は5

武見敬三厚生労働相は5日、閣議後記者会見で、新型コロナウイルスの治療や医療提供体制に関する公費支援を3月末で終了すると発表した。高額な治療費代は、医療費の窓口負担割合に応じて1～3割の自己負担となる。入院費の補助もなくなり、患者の経済的負担が増す。4月以降、通常の医療体制へ移行する。5日、

現在の感染状況や対応状況を踏まえた判断。武見氏は「一般病床でコロナ患者の受け入れの整備を進めており、移行は問題ないと考えた」と述べた。また、緊急承認されていた塙野義製薬（大阪）の抗ウイルス薬「ゾコーバ」について同日、通常の製造販売を承認したと発表した。

外来患者を診る医療機関
数の目標や病床確保料をな
んじ、広く一般の医療機関
で対応するよう求めた。医
療費が上限額を超えた場合
に支給する「超額療養費制
度」は元々手続き難用とされる。
厚労省によると、感染者
数は2月25日までの3週間
連續で減少し、冬の流行「第
10波」のピークは過ぎたと
みられる。公費支援は終了

新型コロナ公費支援のイメージ

	5類移行直後 2023年 5月8日～9月30日	見込み 2023年10月～2024年3月	24年 4月以降
治療費	全額公費負担	3割負担者は 定額9000円	通常の医療費 の自己負担と 同様
入院費	高額療養費制度 適用後に最大 2万円補助	最大1万円 補助	補助廃止

療過泊を引き起こすよつな
ウイルスがもし出現すれば、改めて指定感染症に指定する」ともあるという。
通知では、感染拡大時にはオンライン診療の活用を呼びかけている。また、コロナに限らず感染症が疑われる発熱患者を診療した際は、報酬を加算することを2024年度の診療報酬改定に盛り込んだ。

治療薬代は現在、3割負担の人は1回の治療当たり9千円で定額となっている。ゾコーバは5日分の薬価が現在5万2千円ほどで、今年4月以降、3割負担の人は1万5千円超の支払いが求められる見通し。